

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		施設介護ボランティア育成				所管	福祉部 高齢福祉課		
事務事業の概要	行政計画	なし	事業NO.		計画事業名	事業の開始・終了年度			
	長期総合計画体系	[基本目標]							
		[小 柱]							
		[施 策]							
	根拠法令等	その他		〔法令等名〕		なし			
	事業対象	高齢者福祉のボランティア活動を希望する区民							
	事業目的	互いに支えあう地域社会の実現を目指して、行政だけでなく地域全体で支えあう自立支援のまちづくりを構築することを目的に、特別養護老人ホーム等で活動する介護ボランティアの育成とその仕組みを整備する。							
	事業内容	施設介護ボランティア育成講座を開催し、施設で活動していただけるボランティアを育成する。また、施設介護ボランティア育成講座修了者が継続してボランティア活動への参加を希望した場合に、特別養護老人ホーム又は高齢者在宅サービスセンターにて施設介護ボランティアの受入れを行い、希望者と受入施設との調整を図る。							
委託の有無	全部委託		委託内容	施設介護ボランティア育成事業委託					
補助金の有無	都								
事務事業の実績	種 別	指標の名称 (単位)		目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度		
	活動指標	講座開催回数 (回)		2	2	2	2		
		受講者数 (人)		35	9	14	29		
	成果指標	ボランティア受入人数 (人)		35	9	14	29		
	決算額 (単位：千円)				2,416	2,750	2,707		
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト (人件費など)			1,350	1,250	1,278		
		物にかかるコスト (物件費・維持補修費)			2,416	2,751	2,707		
		その他のコスト (扶助費・補助費など)			0	0	0		
		総経費			3,766	4,001	3,985		
	財源項目 (単位：千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)			0	0	0		
その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)			1,126	1,330	1,315				
一般財源 (区負担額)			2,640	2,671	2,670				
前年度から改善した事項		広く受講者を募るため、募集チラシの町会回覧を実施した。							
評価の視点		評価	評価の理由						
	必要性	3	施設だけでなく地域全体で高齢者介護を担っていくために、介護ボランティア育成の必要性は高い。						
	効率性	3	受講者数を大きく伸ばし、効率的な事業運営に努めた。						
	手段の適切性	3	研修カリキュラムの作成・ボランティア希望者と受入施設との調整など、事業を円滑に行えるよう、事業運営コーディネーターを配置し、適切な事業運営を行っている。						
	目的達成度	4	施設での介護ボランティアの役割は大きく、継続的に活動する人も増えている。						
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		
施設介護ボランティアは、高齢者施設の業務を補うだけでなく、地域の介護力向上に資する効果は大きい。今後も事業の周知に努め、ボランティアの定着を図っていく。						維持			